

# One Day Workshop on Symplectic Geometry and Related Topics<sup>1</sup>

以下の研究会を対面形式で行います。ご参加お待ちしております。なお、変更がある場合には

<http://www.math.nagoya-u.ac.jp/ja/research/calendar/>  
にてお知らせ致します。

世話人: 太田 啓史

**Date:** 2022年11月15日(火)

**Venue:** 名古屋大学 多元数理科学棟 309

## Program:

13:30 – 15:00 池 祐一 (東京大学)

Tamarkin 圏におけるインターリービング距離の完備性と  $C^0$  シンプレクティック幾何への応用

15:30 – 17:00 本田 公 (UCLA)

Higher-dimensional Heegaard Floer homology and Hecke algebras

## Abstract:

(池) 柏原と Schapira により構築された超局所層理論は、近年シンプレクティック幾何への応用が進んでいる。特に Tamarkin 圏という層の圏を超局所的な観点から用いることで、シンプレクティック幾何における非分離性の問題を調べることができる。さらに Tamarkin 圏に層に対するインターリービング距離を導入することで、ハミルトン微分同相写像のエネルギーを調べることもできる。この講演では、Tamarkin 圏におけるインターリービング距離の完備性とその  $C^0$  シンプレクティック幾何への応用について説明する。本講演は浅野知紘氏との共同研究に基づく。

(本田) Hecke algebras are ubiquitous in number theory and geometric representation theory. In this talk we describe the appearance of various Hecke algebras such as the affine Hecke algebra and the double affine Hecke algebra (DAHA) in Floer theory, through the higher-dimensional analog of Heegaard Floer homology. This is joint work with Yin Tian and Tianyu Yuan.

---

<sup>1</sup> Partially supported by JSPS Grant-in-Aid for Scientific Research # 21H00983, 21K18576.  
ver.20221017